

<新しい出会いっぱいの4月でした>

新年度がスタートして早くも一ヶ月が経ちました。子どもたちは新しい環境にもずいぶん慣れて、朝夕元気に外あそびを楽しんでいます。どの子も「ひとつ大きくなった自分」を感じ取っているようで新しいことへ誇らしげにチャレンジする姿があり、「子どもってすごいなあ」と大人も元気をもらう新年度のスタートでした。慣らし保育が徐々に終わっているつくし・れんげのお部屋の子どもたちも、「ここは安心できる楽しい場所なのね!」と、笑顔であそべる時間が増えています。幼児クラスの新入園児さんも、4月始めはドキドキして不安もありましたが、よく食べ、よくあそび、新しい友だちとの関わりも楽しくなってきました。

また、新生活が始まった新入園家庭の保護者の皆さんは、大変な一ヶ月だったのではないのでしょうか。入園式での園長挨拶に「子育て仲間をたくさんつくって下さい。」というメッセージがありました。が、「保育園時代の子育て仲間」は、子どもたちが大きくなり、手が離れても続く大切な存在になっていきます。ぜひ、この「ののかぜ保育園での新しい出会い」を大切に、大変なことも、うれしいことも共有し、支えあっている保護者同士のつながりをつくって下さい。職員たちも、そのお手伝いができればと思っています。 あらためて、今年度1年間、よろしく申し上げます。

<4月より、子育て支援事業「みんなのはらっぱ」が自主事業となりました>

2019年10月に開所し、4年半地域のたくさんの親子の皆さんにご利用いただいた「みんなのはらっぱ」ですが、昨年度の名古屋市公募に残念ながら選定されず、名古屋市の拠点事業としての運営が終了となりました。利用いただいたお母さんたちから「なぜ、こんなに突然はらっぱが閉所になるのか」「これからも続けてほしい」等、たくさんの声が届き、「みんなのはらっぱ」に限らず、市の選定基準など行政へ声を届けていくことを検討しています。

ただ、「これで『みんなのはらっぱ』を閉めることはしたくない!」と、法人でも話し合い、財源的には厳しい状況ですが、この4月よりのののかぜ保育園の子育て支援自主事業としての運営を始めることとなりました。また、「地域との繋がりを」という願いのもと、近隣の他施設・他団体との共同の取り組みとして、様々な活動も実践していきたいと考えています。

今回の件は非常に残念ではありますが、「ピンチをチャンスに!」その心で、ののかぜ保育園としてさらに一歩、二歩、前に進んでいきたいと願っています。

4/16(木) 新5歳児さくらさんの子どもたちとのリズムあそび

昨年度、はらっぱの企画としてとても人気が高かったのが「幼児さんとのリズムあそび」です。新年度始まってすぐではありましたが、担任職員たちも「いいですよ」と快く引き受けてくれて、一回目を行うことができました。事前に「どんなリズムにするか?歌は歌う?」などさくらさんと話し合い、皆わくわくとした表情で当日を迎えることができ、さすが5歳児さくらさん、本番は職員の思っていた以上に誇らしげで、とても素敵な姿をみせてくれました。「子どもたち集団の心地よいつながり」も垣間見え、その心地よさが一人一人の支えになっている様子も伝わり、一緒に参加したすみれさんの子どもたちも本当に安心して(一生懸命な姿がまたかわいいことでした)楽しむことができました。終わった後「ちょっと緊張したけど楽しかった」等の言葉もあり、心の育ちも感じられる取り組みとなりました。たくさんの出会いを大切に、ののかぜ保育園の子どもたちもはらっぱさんとの交流を深め、育ちあっていきます。